

准教授 加藤 良浩 (Yoshihiro Kato)

研究シーズ

【外国語・言語】 【観光・文化・芸術】

専門

英米文学/アメリカ文化/文学批評

研究キーワード

アメリカ南部ルネサンス/カトリック小説/英米文学/
文学批評/文化的背景分析



研究テーマ

アメリカ南部ルネサンスの文学とカトリック小説を
中心とした英米文学研究

研究の概要

アメリカ南部ルネサンス文学やカトリック小説を中心に英米文学の研究を行っています。特に、ウィリアム・フォークナーやフラナリー・オコナーなどの作家の新たな作品解釈を通じて、宗教、階級、ジェンダー、エスニシティといったテーマを深く掘り下げています。また、文学作品の背景にある文化的・歴史的要素を分析し、現代社会における文学の意義を探求しています。これらの研究は、文学を通じた異文化理解や教育において重要な示唆を提供します。

《これまでの主な著作・論文》

『アメリカ南部ルネサンスの小説』—ポーター・フォークナー・オコナー
(作品中の多義的、逆説的表現に着目しながら、代表的な作品の新たな解釈を試みたもの)

キャサリン・マンズフィールド「園遊会」—階級差を超えるローラの眼差し
(死の姿を目にした主人公の心に浮かんだ生とは何か、それが社会の階級といかなる関係にあるのか、ということについての考察)

ミリエル・スパーク『死を忘れるな』
(「死を忘れてはならない」との一貫した主張と同時に示される提言とは何かについての考察)

スーヴァンカム・タンマウォンサ『ナイフの発音の仕方』における主人公のラオス人としての思い
(主人公のラオスへの望郷の念が、作品描写にどのような表現を通して描かれているのかを考察したもの)

セールスポイント

英米文学の深い知識と批評的視点を活かし、文学作品を通じた異文化理解の促進に貢献しています。特に、アメリカ南部ルネサンス文学やカトリック小説に関する専門性を持ち、宗教や文化的背景を含む多角的な分析が可能です。これにより、教育プログラムや文化イベントの企画において、実践的かつ学術的な提案を提供できます。

想定される用途・応用例・活用例

- ・英米文学作品の鑑賞を通じた新たな解釈の提示
- ・文学作品をテーマとした講演会の開催
- ・文学作品や批評を基にした教育教材の開発